

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	林業振興事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する
施策	02 地域の自然環境を守る
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	農作物被害の増加、動植物の生息環境に悪影響をもたらす外来生物の増加、また有害鳥獣(主にイノシシ)の増加に伴い、農業者の生産意欲の低下や地域の動植物の生息環境の悪化が懸念されている。荒廃した森林については整備活動に対する補助が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	○農作物に被害を与える特定外来生物、有害鳥獣を捕獲し生息数を減少させることで、農業者の生産意欲の低下を防ぎ、同時に動植物の生息環境の保全を図る。○森林を保全することにより、生物多様性保全や保健休養の場の提供等の森林の持つ多面的機能の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	○市民、主に市内農業者(有害鳥獣捕獲業務) ○森林又は公園を憩いの場として利用する市民(公益森林保育業務)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	○有害鳥獣捕獲業務を地元猟友会に委託(有害鳥獣等捕獲業務) ○明神の森の保育管理を地元町内会に委託(平岡町新在家、公益森林保育業務) ○森林整備に取り組む地元住民活動組織に対する支援(国・県事業の活用)

【コスト】

	平成27年度(決算見込)	
事業費合計	6,605 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	2,740 千円
	地方債	千円
	その他特財	27 千円
	一般財源	3,838 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	06 農林水産業費
項	04 林業費
目	01 林業振興費
細目	005 林業振興事業

【コスト推移】

	平成27年度(決算見込)	平成26年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計	6,605 千円	5,981 千円	3,130 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	特定外来生物の捕獲頭数は増加傾向にあるので、地元猟友会による捕獲活動を継続して行う必要がある。また、被害農業者自身による捕獲活動を円滑に実施する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成27年度実施事業〉

事務事業名	林業振興事業	部局名	地域振興部
		課(室)名	農林水産課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
農家世帯数	世帯	7,104	7,169	7,193

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度
捕獲頭数(特定外来生物)	頭	540	365	250
捕獲頭数(イノシシ)	頭	131	65	90
活動指標分析結果	近年、有害鳥獣等の捕獲頭数が増加傾向にあり、それに伴い業務委託料も増加させ、捕獲業務の拡大を行っている。委託料に関しては、捕獲実績によって委託料の増減が生じるため、毎年見直すのが妥当であると考えます。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	目標年度	目 標 値
鳥獣被害相談件数	件	145	181	156	平成28年度	120
成果指標分析結果	特定外来生物(アライグマ、ヌートリア)の捕獲頭数は増加傾向にある。捕獲頭数については捕獲従事者数や環境の変化によって増減が生じるが、わなの数の増加に伴う捕獲数の増加を見込み、業務委託を続けることが、妥当であると考えます。					